



富 管 第 1070号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長
金井 道夫 様

富津市長 佐久間 清治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました標記の件については、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

千葉県富津市

※地方部である当市にとって、自動車に代わる移動手段はなく車は日常生活をする上で必要不可欠であります。よって道路網及び道路環境の整備についての要望は、議会、自治会、市民から数多く市に対して提出されています。

市といたしましても、道路網及び道路環境の整備が、地域の魅力を高め地域の活性化につながっていくものと考えておりますので、地方が真に必要な道路整備の計画的な推進を要望いたします。

特に地方部である当市においては以下３点について要望いたします。

①道路特定財源の重点投下について

地方部（当市含む）では公共交通手段が少なく車は日常生活をする上で必要不可欠であります。よって世帯あたりのガソリン税等の負担は都市部に比べ地方部がはるかに重くなっております。都市部で１ｍの道路を作る予算で地方ではその数倍の延長を整備できます。限られた予算の中で投資効果を上げる為、都市部より先に地方部に予算の重点投下を要望いたします。

②補助金メニューについて

毎年毎年補助金メニューが変更になり国会受け、あるいは中央省庁受けする補助金メニューばかりであります。市道における歩道設置や市道の維持補修に対応するような補助金メニューの創設を要望いたします。

③道路特定財源の暫定税率の廃止について

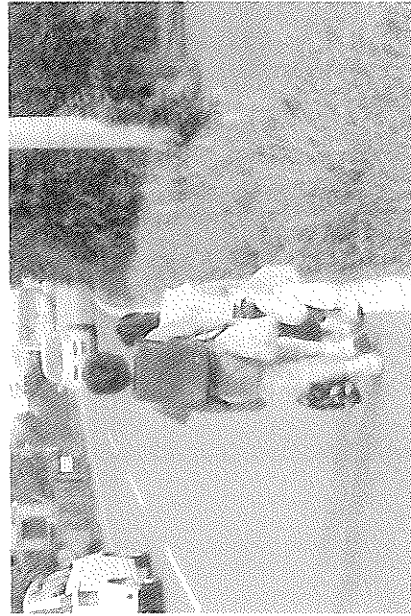
舗装の打ち換え、道路側溝の整備、蓋架け、白線引き等々維持補修さえままならない状況にあるのに、暫定税率が廃止されるようなことになれば道路行政が成り立ちなくなりますので、将来にわたって特定財源を安定的に確保する事を要望します。

②—1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

※ 地域間格差への対応や生活者重視の視点から地方の自主性と地域のニーズをふまえた、真に必要な道路整備が遅れている現状からこれらの整備促進が喫緊の課題となっている。

① 少子高齢化が進行している当市にとって生活に密着した道路整備、特に歩道の整備、見通しの悪い交差点の改良等の交通弱者を守る為の対策が必要です。(国の高齢化率22%に対して当市の高齢化率は27.51% [いずれも2008年ベース])



《 国道465号富津市川名地先の通学路 》

○ 課題

① 事故多发箇所につきましては、警察や道路管理者により安全点検を行い改善できる箇所から随時改良を行っておりますが、改善が必要な箇所が多く市民からの要望に応え切れない状況から、交通安全対策を推進するために必要な補助制度の創設と中期計画の需要推計に地方の小さな道路改良も盛り込んでいただきたいと思います

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

千葉県富津市

②—1 地域の現状と抱える課題

○ 現状 ② 当市は市道延長47.7Km 余りに対して、橋梁数は205橋（永久橋200橋、非永久橋（木橋）5橋）あり、もともと古いもので昭和7年の建造であり架け替えを検討すべき現状であります。が、必要最低限の維持補修費と日常管理体制により長寿命化を図っております。	○ 課題 ② 橋梁の経年変化に対して、適切な時期に適切な補修費を投入する必要があると思われませんが、その前段となる調査点検、補修方法等選択をする技術者がいません。現行の長寿命化計画策定についてのみの補助金ではなく、調査点検等についても補助金の対象としたいと大きく要望します。
--	---

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県富津市

当市では、平成18年度から22年度までの5か年を計画期間とする第2次基本計画を策定し、すべての市民が生き生きと豊かな社会生活が送れるよう、市民が一体となって明日の富津市づくりに取り組むことをめざしています。

第2次基本計画の概要

名 称	いきいき富津5か年プラン
期 間	平成18年度から22年度
主要指標	平成22年目標人口 51,000人 計画事業費 236億円
重点施策	市長の市政運営の基本政策を基に、次の施策を「富津いきいきプログラム」として位置付け、重点的かつ先導的に取り組んでいきます。 (1) 企業誘致の推進 (2) 自然を活用した観光・地場産業の振興 (3) JR青堀駅から大貫駅にかけての都市的機能の充実 (4) 安全で安心して生活できるまちづくり (5) 次世代育成への取り組み (6) (仮称)福祉・教育施設の整備推進(健康・福祉総合支援センターと図書館の複合施設) (7) スポーツ・レクリエーションの振興 (8) 開かれた市政運営と市民サービスの向上

また、当市のまちづくりのビジョンとなる基本構想(平成12年12月市議会で議決)では、15年後の富津市を見据えて、新しいまちづくりの展望と指針を示し、その実現に向けたまちづくりの施策の大綱、地域(ゾーン)施策の方向などを示しています。

②—2 地域の目指すべき将来像

千葉県富津市

西暦2015年の富津市のイメージ(目指すべき将来像)

[基本構想から抜粋]

① 市内の各地域を結びまた広域的な連携軸としての交通基盤の形成を目指して、新しい富津市幹線道路網計画の推進のもとに道路及び橋梁等の整備が図られます。

② 道路・公園・住宅などについて、多くの人々が使いやすいバリアフリーの思想が浸透し安心して歩ける歩道の確保や段差を解消した施設等の整備が図られます。

③ あらゆる社会活動の場面において、男女が対等の立場で活躍する男女共同参画社会の形成とその活動の推進が図られます。

④ 国の内外で頻繁に発生している災害や阪神・淡路大震災等の教訓を生かして、市民生活の安全を確保する施策が図られます。

⑤ 市民生活の身近なところで、省資源化とリサイクルによる資源循環型のまちづくりが図られます。

⑥ 市道等の生活道路や上下水道等の生活環境の整備が図られます。

基本構想、5か年計画を達成するうえで、道路整備は最の要であります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

千葉県富津市

○ 重点事項 地域活力の向上	○ 代表事例 東京湾環状道路の一翼を担う東京湾口道路の 早期整備	○ 期待する効果や評価等 東京湾環状道路の一翼を担う東京湾口道路 は、房総と三浦半島地域の活性化にとどまら ず、諸機能の充実・強化を図るとともに首都 圏の全体構造として東京中心部への過度の依 存を緩和し、各地域の拠点的な都市を中心に 諸機能がバランスよく配置された自立性の高 い地域の形成と相互の連携・交流による分散 型ネットワーク構造の形成に寄与する他、首 都圏中央連絡自動車道などとともに地域連携 軸を形成し、地域間の交流を促進するなど極 めて波及効果の高い道路であると考えていま す。	○ その他
-------------------	--	---	-------

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

千葉県富津市

地域活力の向上 (観光立県ちげ)	高速道路等の整備計画に併せて、その受け皿となる幹線道路の整備 ・ 国道127号、465号の整備 ・ 県道富津館山線、大貫青堀線、君津大貫線、小櫃佐貫停車場線の整備	当市を含む房総南部地域は、東京大都市圏のなかにあつて、恵まれた自然資源を有し、休日や観光シーズンには、レジャー施設や観光施設を利用する多くの来訪者で賑わう地域でありますが、現状は旧来の狭隘な道路幅員の箇所も多く交通渋滞や交通安全上危険であるばかりでなく、観光や地場産業の振興を市の主要施策に位置づけている当市にとつて、地域の主要な観光資源の有機的な連携と地域経済の発展には必要不可欠であり、非常に効果が高いと考えています。	
-----------------------------	---	--	--

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

千葉県富津市

少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	日常生活関連道路網及び道路環境の整備 ・ 千種新田篠部境線他未改良市道の整備	道路網及び道路環境の整備についての要望は、議会、自治会、市民から数多く市に対して提出されており、安全で安心して生活できるまちづくりを市の主要施策に位置づけている当市にとっても喫緊の課題であります、またその課題克服が、地域の魅力を高め、地域の活性化につながっていくものと考えております。 また、少子高齢化が進行している当市にとっては、道路網及び道路環境の整備は市民生活のQOLを維持し高める上で最重要課題と考えております。
---------------------------------------	---	---